

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公開番号】特開2003-11096(P2003-11096A)

【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)

【出願番号】特願2001-201431(P2001-201431)

【国際特許分類第7版】

B 2 6 F 1/24

B 2 6 F 1/20

F 2 8 F 3/04

【F I】

B 2 6 F 1/24

B 2 6 F 1/20

F 2 8 F 3/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月18日(2004.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の突起部を具備するフィルムを製造するためのフィルム製造システムにおいて、

回転軸が並列する一対のロールを有し、該ロール間にフィルムを挟入することにより前記突起部を成形するための成形ロール部と、突起部を成形されたフィルムを引き抜き、前記突起部を整形する引抜整形ロール部とを備えることを特徴とするフィルム製造システム。

【請求項2】

前記引抜整形ロール部は、回転軸が並列する一対のロールを有して前記成形ロール部にて成形されたフィルムを引き抜くための引抜ロール部と、回転軸が並列する一対のロールを有して前記引抜ロール部から送り出されたフィルムが具備する前記突起部を整形するための整形ロール部とからなることを特徴とする請求項1に記載のフィルム製造システム。

【請求項3】

前記成形ロール部、引抜ロール部、及び整形ロール部が夫々有する一対のロールは、駆動ロール及び該駆動ロールに従って回転する従動ロールからなり、前記引抜ロール部の駆動ロール径は前記成形ロール部の駆動ロール径以上を有し、前記整形ロール部の駆動ロール径は前記引抜ロール部の駆動ロール径以上を有していることを特徴とする請求項1又は2に記載のフィルム製造システム。

【請求項4】

回転軸が並列する一対のロールを有し、該ロール間にフィルムを挟入することにより前記フィルムに複数の突起部を成形するための突起部成形装置であって、

前記一対のロールのうち一方のロールは、ロール面に所定距離を隔てて複数の突設部を具備し、他方のロールは、前記複数の突設部に係合する係合溝部を具備することを特徴とする突起部成形装置。

【請求項5】

前記成形ロール部が有する駆動側ロール、前記引抜ロール部が有する駆動側ロール、及び前記整形ロール部が有する駆動側ロールは、互いに連動することを特徴とする請求項1

乃至4の何れかに記載のフィルム製造システム。